

練習試合の結果

1日(金) 対大宮北高校		
第1試合	雨のため中止	
3日(日) 対国立高校		
第1試合	6対5	勝利
第2試合	13対10	勝利
5日(火)		
第1試合 対横須賀高校	5×対4	勝利
第2試合 対熊谷高校	11対6	勝利
6日(水)		
第1試合 対足利高校	10対2	勝利
第2試合 対市立太田高校	2対2	引分

通算結果 16勝 7敗 4分

浦高との定期戦、迫る！

GW直後の土曜日は毎年、浦高(県立浦和)と定期戦を行っています。今夏は両校共にシードという形になりましたので例年以上に熱い戦いになるのではないのでしょうか・・・

◆ 過去の定期戦

平成26年	市高	5対4	浦高	○
平成27年	市高	3対0	浦高	○
平成28年	市高	5対7	浦高	●
平成29年		雨のため中止		
平成30年	市高	9対8	浦高	○
令和元年	市高	2対8	浦高	●
令和2年		コロナのため中止		
令和3年		コロナのため中止		
令和4年	市高	12対2	浦高	○
令和5年	市高	5対5	浦高	△
令和6年	市高	14対7	浦高	○
令和7年		雨のため中止		

「北浦和決戦」・・・負けられません！

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R8. 5. 7

発行ナンバー 1266号

金星を目指して

今回のように花咲徳栄高校や浦和学院高校(いわゆる強豪校)と公式戦で対戦する際、金星を挙げるには鉄則があります。1番はコレ、相手をリラックスさせない=緊張感を継続させる、ということになります。そのために必要なのは、私達(弱者)が先制点をとることになります(先に1点とることができれば、2点とられるまでは間違いなく緊張感が継続するからです)。

今回の徳栄戦、どうしても先攻をとりたかったんですが、ジャンケンに負けて先攻をとられる・・・しかも1回表に1点先制されてしまいました(内心は「しまった」という気持ちで一杯でした)。これは強豪校にノビノビプレーされてしまうパターンだからです。ただこの日、市高は徳栄相手にその裏1点を取り返しました。こうなると大事なのは、相手を越す(=一時的にでも逆転する)ことなのです。選手は追いついたことに興奮していましたが、私は越さなければならないことを呪文のように念じていました。

実はこの試合(緊張感は継続していたので)1点ビハインドの3回裏や4回裏にも市高に逆転のチャンスがありました。試合後、徳栄・岩井監督と話をさせていただきましたが、そのシーンの時だけはベンチから配球の指示を出したと仰っていました。徳栄も長いイニング続く緊張感は避けたかったのだと思います。

すいません。今回はここまで。

それにしても野球が9イニングなのは本当に良く出来た(なかなか金星を挙げられない)ルールだと思います(7イニングなら・・・笑)。金星は今回も実現できませんでしたが、いつの日か・・・と思っています。

引き続き頑張ります。